

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 17 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	32.9 °C	106.6 kPa abs	A系： —* vol%
		給水系：約 3.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.2 m <sup>3</sup> /h	44.9 °C	4.06 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.1 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.08 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.5 m <sup>3</sup> /h	45.8 °C	0.20 kPa g	A系： 0.21 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.20 vol%

\*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・10/17 6:46 1, 3号機原子炉への注水量の低下が確認されたため、以下のとおり注水量の調整を実施。

【1号機】給水系からの注水量を約 2.6 m<sup>3</sup>/h から約 3.0 m<sup>3</sup>/h に調整、炉心スプレイ系からの注水量は約 2.0 m<sup>3</sup>/h で継続中。

【3号機】給水系からの注水量を約 1.8 m<sup>3</sup>/h から約 2.0 m<sup>3</sup>/h に調整、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.3 m<sup>3</sup>/h から約 4.5 m<sup>3</sup>/h に調整。

※ 計器校正に伴いデータ欠測。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5 °C
2号機	循環冷却システム	停止中	29.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	20.2 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	29 °C

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】・10/15 6:07 使用済燃料プール代替冷却系において、弁迫設および逆止弁点検、ドレン配管の設置作業を行うため、使用済燃料プールの冷却を停止。10/20 まで冷却停止予定。

なお、冷却停止時のプール水温度は約 23.0°C で、停止中のプール水温度上昇率については約 0.22°C/h と評価しており、停止中のプール水温上昇は約 28.9°C であることから、運転上の制限値 65°C に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	10/16 10:14 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/15 18:05 ~ 移送実施中
4号機	4号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/15 11:55 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/17 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上